

製品名: E2F1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00139**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 47 kDa; Observed MW: 65 kDa

抗原情報

遺伝子名	E2F1
別名	E2F1; RBBP3; Transcription factor E2F1; E2F-1; PBR3; Retinoblastoma-associated protein 1; RBAP-1; Retinoblastoma-binding protein 3; RBBP-3; pRB-binding protein E2F-1
遺伝子 ID	1869
SwissProt ID	Q01094
免疫原	ヒト E2F1 の合成ペプチド

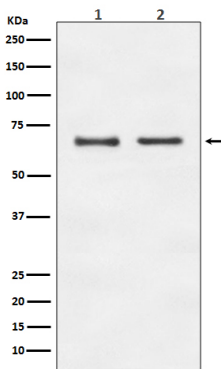
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、転写因子 E2F ファミリーのメンバーです。E2F ファミリーは細胞周期の制御と腫瘍抑制タンパク質の作用に重要な役割を果たしており、また、小型 DNA 腫瘍ウイルスの形質転換タンパク質の標的でもあります。

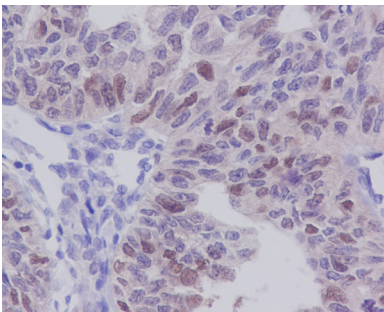
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

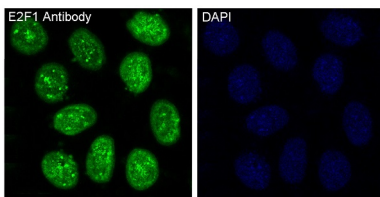
画像データ



(1) HeLa ライセート、(2) E2F1 抗体を用いた NIH/3T3 ライセート中の E2F1 のウエスタンブロット解析。



E2F1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



E2F1 抗体を使用した HeLa 細胞の E2F1 の免疫蛍光分析。